



## 自然の中で IT技術を学ぶ

5月18日、19日に旧長野小学校(西有家町)で、南島原市IoTコンソーシアムの主催により、自然の中でIT技術を学ぶオープンキャンパスが開催されました。

4回目となる今回は「プログラミングを学ぼう」をテーマに、市内外からIT業界に興味のある学生や社会人など49人が集まり、プログラミングによるドローンやラジコン操縦、スマホアプリの開発体験など実践的なワークショップが行われました。

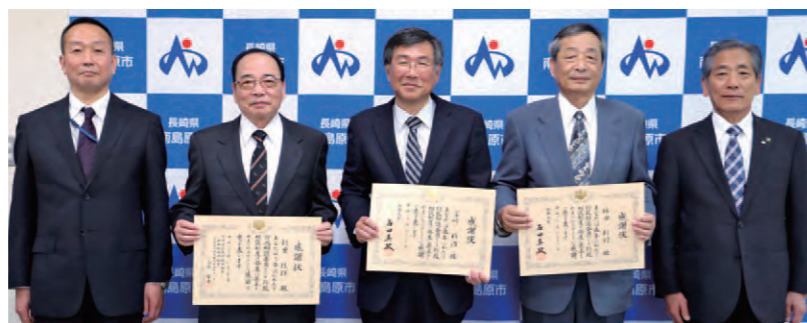
その後、エコ・パーク論所原に場所を移し、夕食のカレーづくりなどで参加者同士の交流を深めました。



## 有家クラブ3年連続の優勝

4月13日、14日に諫早市で行われた「第40回全日本クラブ男子ソフトボール選手権長崎県予選会」で、本市代表の有家クラブが3年連続3回目の優勝に輝きました。

有家クラブは、6月1日、2日に鹿児島県で行われる九州予選会に出場します。



## 行政相談委員の功績へ感謝状

4月22日、任期満了により行政相談委員を退任された3人に、長崎行政監視行政相談センターの山川所長から感謝状が手渡されました。

行政相談委員は、県内に97人、うち市内には6人の委員が総務大臣からの委嘱を受けて、行政に関する様々な相談を受け付ける活動をボランティアで実施されています。

今回退任された林田利昭さん、村里佳揮さん、宮崎祐治さん、長い間ありがとうございました。



## 原城図書館友の会が大臣表彰受賞

読書活動の推進のため、優れた取り組みを行っていることが評価され、本市の「原城図書館友の会」(西田由里子会長)が、文部科学大臣表彰を受賞しました。

同会は、平成18年の原城図書館開館時から、本の「読み聞かせ」や「おはなし会」などの活動のほか、読書の普及・啓発に熱心に現在も取り組まれています。



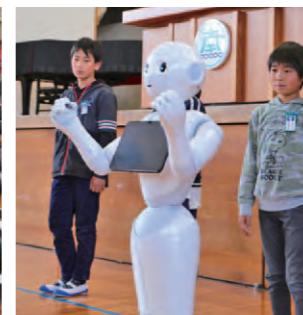
## セミナリヨ授業を再現

4月20日、21日の2日間、かつて有馬のセミナリヨ(イエズス会の中等教育機関)で天正遣欧少年使節が学んだ授業を再現する「セミナリヨ授業再現事業」が行われました。

参加した市内の中学生39人は、それぞれ帷子姿や南蛮衣装に身を包んで開校式に臨み、茶道やラテン語の授業を受けました。

また、夕食には当時の文献を基に再現された南蛮料理を味わい、翌朝は4時30分に起床し、庭の掃除を行うなど、当時の生徒の1日を体験することで400年前の歴史を肌で感じている様子でした。

なお、この事業に参加した中学生の中から本市が行っている「令和遣欧少年使節海外派遣事業」および6市町(宮崎県西都市、大村市、西海市、雲仙市、波佐見町、南島原市)で行っている「天正遣欧少年使節ゆかりの地海外派遣事業」の派遣団員を選考します。



## 県内初! プログラミング教材に「Pepper」を導入

小中学校のプログラミング教育の教材として、人型ロボット「Pepper」を導入しました。これに伴い、4月15日、南有馬小学校で導入セレモニーを開催しました。

セレモニーでは、南有馬小学校6年生の永吉杏樹さんが事前にプログラミングしたPepperが「こんにちは、ぼくは南有馬小学校のことをよく知りたい。ぼくとたくさん話してね」とあいさつしました。

永吉さんは「プログラミングしたことを話したPepperが楽しそうに見えたおかげで、みんなが笑顔になれてよかった」と話しました。

市は、ソフトバンクグループ株式会社およびソフトバンクロボティクス株式会社の実施するPepper社会貢献プログラム2に参画し、Pepperを4台を導入しました。

今後、市内各小中学校のプログラミング授業で活用されます。

## Focus in 南島原 まちの話題



## 令和を祝して太鼓を披露

令和元年5月1日、国道251号沿いの原城跡駐車場で、令和の始まりを祝して、布津無双太鼓、和道 深江太鼓、瑞宝太鼓の3団体が、太鼓演奏を披露しました。

会場では、手作りのカレーや焼きそばなどの販売コーナーも設置され、来場者をもてなしました。



## 孝子祭 親孝行の継承

4月24日、加津佐町津波見地区で「孝子祭」が開催されました。

この行事は、親孝行で讃えられた安永安次さんのように、家族を大切にするとともに「あなたかい心と思いやり」の道徳心を養い、子供たちの健全育成を図る文化行事として毎年行われています。

式典では、児童を代表して森川稀立くんが「安次さんの行いや優しさを多くの人に伝えていきたい」と祭文を述べ、参加児童全員で「孝子の歌」を合唱しました。